

令和 4 年度
F C 東京との
連携協力事業報告書

令和 5 年 3 月

生活文化スポーツ部スポーツ振興課

令和4年度FC東京連携事業一覧表

No	担当課	事業名	新規・継続
1	広報課	市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）や市報での情報発信	継続
2	広報課	調布市 暮らしの便利帳 2023-2024年版の発行	継続
3	企画経営課	ふるさと納税	新規
4	人事課	「令和5年度調布市職員採用案内」への掲載	継続
5	管財課	ポスター掲示、チラシ・パンフレットの配架、懸垂幕の設置許可	継続
6	産業振興課	バナーフラッグ作成・掲示	継続
7	産業振興課	FC東京「青赤パーク」後援	継続
8	協働推進課	まち活フェスタ（ちょみつと出展ブース）	新規
9	文化生涯学習課	平和祈念事業との連携	継続
10	子ども政策課	いじめや虐待のないまち宣言PR事業	継続
11	児童青少年課	児童館交流大会「J's cup」	継続
12	高齢者支援室	JリーグFC東京 「高齢者体操教室」	継続
13	障害福祉課	あおぞらサッカースクールin調布	継続
14	保険年金課	封筒にドロンパを使用	継続
15	福祉総務課	社会を明るくする運動中学生サッカー教室	継続
16	環境政策課	ゼロカーボンシティ宣言横断幕・懸垂幕におけるFC東京カラーの使用	新規
17	交通対策課	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	新規
18	指導室	FC東京出前授業	新規
19	指導室	FC東京選手会 小学校訪問授業（オンライン）	継続
20	社会教育課	令和5年調布市二十歳のつどい	継続
21	図書館	「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2022」発行	継続
22	調布市体育協会	第67回調布市民駅伝競走大会	継続
23	調布市体育協会	CHOFU SPORTSキャンプ2022	継続
24	調布市体育協会	第62回調布市民体育祭 開会式（動画配信）	継続
25	調布市体育協会	第8回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
26	調布市体育協会	第40回調布市民スポーツまつり	継続
27	調布市体育協会	第20回調布フットサル大会	継続
28	社会福祉協議会	東京都共同募金会 調布地区協力会	継続
29	調布文化・コミュニティ振興財団	調布よさこい	継続
30	スポーツ振興課 産業振興課	調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム	継続
31	スポーツ振興課	青赤ストリート	新規

32

スポーツ振興課 FC東京リーグ戦等の情報発信

継続

33	スポーツ振興課	ホームタウン6市分科会	継続
34	スポーツ振興課	調布市障害者スポーツ体験会	継続
35	スポーツ振興課	F C 東京「調布の日」	継続
36	スポーツ振興課	小学生サッカークリニック	継続
37	スポーツ振興課	子どもサッカ一体験教室	継続
38	スポーツ振興課 環境政策課	楽しくやろうCCAゴミ拾い部への参加	継続
39	スポーツ振興課	初心者向けフットサル教室（大人向け）	継続
40	スポーツ振興課	指導者講習会（オンライン）	継続
41	スポーツ振興課	あおあかドリルの配布	継続
42	スポーツ振興課 文化生涯学習課 調布市体育協会 調布市文化・コミュニティ振興財団等	2023シーズン開幕に向けた取組	新規・継続

No.1

所管 広報課

事業名称 市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）や市報での情報発信

継続

実施日 試合前日などのタイミングで随時実施

実施内容 FC東京を応援するため、市内小学生による応援企画やユニフォーム着用データなどの取組を、市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）で写真で配信した。調布・狛江の魅力PR部の大学生の協力のもと、FC東京の関連イベントへを取材し、市公式SNSや個人のアカウントを通じて魅力発信した。また、市報ちょうふでも、FC東京の試合日程を掲載した。



【調布・狛江の魅力PR部News】
#FC東京「#調布の日」市民招待申し込み受付中
7月2日(土)午後6時から味の素スタジアムで開催されるアビスパ福岡戦を「調布の日」として、市民を無料招待します。この機会に味スタで応援しませんか。
詳細はHPをご覧ください。頑張れFC東京!
#fctokyo #chofu #ホームタウン #chofu_komae



【調布市】@chofu_shi · 2022年6月1日
【#FC東京「#調布の日」市民招待申し込み受付中】
7月2日(土)午後6時から味の素スタジアムで開催されるアビスパ福岡戦を「調布の日」として、市民を無料招待します。この機会に味スタで応援しませんか。
詳細はHPをご覧ください。頑張れFC東京!
#fctokyo #chofu #ホームタウン

FC東京2023シーズン開幕!

新シーズンのFC東京の開幕戦は、2月18日㈯の味の素スタジアムでの浦和レッズ戦です。アルベル監督2年目のシーズン、リーグ制覇を目指すFC東京をみんなで応援しましょう。 ©F.C.TOKYO

節	日 程	キックオフ	対戦相手	会 場
1	2月18日㈯	午後2時	浦和レッズ	味の素スタジアム
2	2月26日㈰	午後3時	柏レイソル	三協フローテア柏スタジアム
3	3月4日㈯	午後2時	京都サンガF.C.	サンガスタジアム by KYOCERA
4	3月12日㈰	午後3時	横浜FC	味の素スタジアム
5	3月18日㈯	午後2時	名古屋グランパス	豊田スタジアム
6	4月1日㈰	午後3時	サガン鳥栖	駿府不動産スタジアム
7	4月9日㈰	午後3時	湘南ベルマーレ	味の素スタジアム
8	4月15日㈯	午後4時	セレッソ大阪	味の素スタジアム
9	4月22日㈰	午後2時	サンフレッチェ広島	エディオンスタジアム広島
10	4月29日祝	午後3時	アルビレックス新潟	味の素スタジアム
11	5月3日㈬	午後3時	アビスパ福岡	ベスト電器スタジアム
12	5月6日㈯	午後2時	北海道コンサドーレ札幌	札幌ドーム
13	5月12日㈮	午後2時30分	川崎フロンターレ	国立競技場
14	5月20日㈯	午後3時	鹿島アントラーズ	県立カシマサッカースタジアム
15	5月27日㈯	午後2時	ヴィッセル神戸	ノエビアスタジアム神戸
16	6月3日㈯	午後3時	横浜F・マリノス	味の素スタジアム
17	6月11日㈰	午後6時	ガンバ大阪	パナソニックスタジアム吹田

今後の
方向性や
課題等

FC東京の投稿内容は閲覧者の反応が良くフェイスブックやツイッターでは常に多くのいいねが付いている。また、FC東京のファンでもある魅力PR部の大学生が、ファンならではの視点から魅力を探り情報発信できることから、行政にない視点で配信ができた。

直接選手と交流できる機会が減っていることからも、引き続き、市SNSや市報による情報発信を通じて、新たなファンの獲得やスポーツによる地域活性化につなげていきたい。

No.2

所管	広報課
事業名称	調布市　暮らしの便利帳　2023-2024年版の発行
	継続
実施日	令和5年2月発行
実施内容	令和5年2月に発行した調布市暮らしの便利帳において、FC東京を紹介。 発行部数：約13万部（市内全戸配布） 規格：A4フルカラー　160ページ（表紙を除く）
今後の 方向性や 課題等	<p>プロスポーツチームなどの地域交流</p> <p>FC 東京</p> <p>FC東京は、味の素スタジアムをホームスタジアムとするJリーグ所属のプロサッカーチームです。調布市は、平成11年からFC東京と連携したまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>活動状況はこちら</p> <p>FC東京HP</p>  <p>プロスポーツチームとの地域交流の項目の中に掲載することで、市民及び市とのつながりを紹介することができた。また、暮らしの便利帳は転入者にも配布をするため、市外からの方へも市の大きな魅力の一つとして発信することができた。</p> <p>今後も暮らしの便利帳を発行する際には、FC東京の情報を掲載していく。本誌の発行が2年に1回であるため、情報が古くならないよう、掲載する内容について検討が必要。</p>

No.3

所管	企画経営課
事業名称	ふるさと納税
実施日	2022年12月27日～
実施内容	<p>調布市が2022年12月1日から開始した返礼によるふるさと納税寄附募集において、FC東京から返礼を提供していただいた。</p> <p>初回は、FC東京の街路灯フラッグに主要選手のサインを記載したものを返礼として用意。12月27日に公開したところ、用意した11本分がほぼ一日で完売した。</p>
今後の方向性や課題等	<p>今後は、体験型の返礼として、ウォームアップ見学のチケットをランナップ予定。</p> <p>はじめての取組と言うこともあり、返礼の種類や数や提供方法など、検討事項が多く両者にとって負担感が大きかったと考えられる。</p> <p>次回以降は新規開発よりも既存のサービスの充実を進め、ふるさと納税による返礼の提供を拡大させていきたい</p>

No.4

所管	総務部人事課	
事業名称	「令和5年度調布市職員採用案内」への掲載	継続
実施日	令和4年3月	
実施内容	○発行部数 1, 500部（採用試験受験者向け） ○概要 魅力的な採用案内を制作し、多くの方々に手に取って読んでいただくため、市のPRの一環として、職員採用案内にFC東京との連携事業（市職員によるFC東京応援企画「ユニフォームデー」等）を掲載した。	
今後の方向性や課題等	 <p>担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>受験者から市職員採用試験への多数の申込があり、スポーツの盛んなまちとして市のPRにも繋がった。</p>	

No.5

所管	管財課
事業名称	ポスター掲示、チラシ・パンフレットの配架、懸垂幕の設置許可 継続
実施日	通年
実施内容	依頼に応じて、市庁舎内の掲示板での試合日程等のポスター掲示及びチラシ・パンフレットの配架、懸垂幕の設置許可を行った。
今後の方向性や課題等	担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。 市庁舎2階に設置しているデジタルサイネージの活用

No.6

所管	産業振興課	
事業名称	バナーフラッグ作成・掲示	継続
実施日	令和4年2月から（順次掲示）	
実施内容	<p>市内商店会の街路灯へFC東京のオリジナルバナーフラッグを取り付け、市としてFC東京を応援する事業。</p> <ul style="list-style-type: none">掲示場所 <p>スタジアム通り、飛田給、西調布、調布駅周辺、市役所</p>	
課題等	<p>調布市がFC東京を応援していることを、市を訪れた人たちに効果的に伝えることができた。</p> <p>来年度についても引き続き掲示することで、FC東京との関係を強化していきたい。</p>	



No.7

所管	産業振興課	
事業名称	FC東京「青赤パーク」後援	継続
実施日	令和4年7月2日（土）	
実施内容	FC東京のホームゲームで、ファン・サポーターに対して各種産業・スポーツ及び文化活動等をPRする、「青赤パーク」事業。調布市後援。	
		
		
課題等	<p>FC東京ファン及びビジターチームファンが1試合につき3万人近く来場することから、調布のまちのPRとともに、スタジアム周辺のにぎわいの創出と地域経済の活性化が期待される取組。</p> <p>FC東京のホームゲームにおいて、味の素スタジアム横青赤パーク内にて「調布の日」イベントを開催。産業振興課では、調布市PRブースにて、市内観光情報等のチラシを配架し、調布市の魅力を紹介。また、同日開催された、調布市観光協会主催「第30回調布観光フェスティバル」と連携し、FC東京「調布の日」と「調布観光フェスティバル」の両イベントを訪れた方にFC東京グッズをプレゼントする企画を行い、市内回遊性の向上と、地域経済活性化に努めた。 (プレゼント引換券 合計122枚)</p> <p>ブラインドサッカーアクション参加者へ配付する、調布市とFC東京のコラボ缶バッジの作成を補助した。</p> <p>今後もより効果的なPRとなるよう、イベントの紹介や物産品販売等、充実したPR方法を検討していきたい。</p>	

No.8

所管	協働推進課	
事業名称	まち活フェスタ（ちょみっと出展ブース）	新規
実施日	令和5年3月12日（日）予定	
実施内容	まち活フェスタでのちょみっと出展ブースにおいて、Twitterフォローキャンペーンで、FC東京選手（森重選手、長友選手、松木選手）サイン入り「東京ドロンパぬいぐるみ」を抽選で3名様にプレゼント予定。サインは1体につき一人のサイン入り。 会場：国領駅前広場	
今後の 方向性や 課題等	<p>お忙しいところご協力いただきありがとうございます。 来週実際にキャンペーンを行ってみて、来場者の反応を見ながら来年度の企画についても考えていきたいと思います。</p>	

No.9

所管	文化生涯学習課	
事業名称	平和祈念事業との連携	継続
実施日	令和4年7月3日～令和5年3月31日	
実施内容	中学生長崎平和派遣事業及びちょうふピースメッセンジャー・ジュニアの取組をFC東京との連携により実施した。 【中学生長崎平和派遣】次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を広く市民へ還元することを目指す。今年度は市内の中学生11人をピースメッセンジャー2022として長崎へ派遣した。任命式では石川ICCからピースメッセンジャーに対して応援ビデオメッセージをいただいた。 【ピースメッセンジャー・ジュニアの取組】7月30日（土）に実施されたFC東京VSサンフレッチェ広島の試合にあわせて、市内の小学生を“ピースメッセンジャー・ジュニア”として広島へ派遣し、戦争・平和に関する学習を行った。また、長崎平和派遣に参加した“ピースメッセンジャー”と事後学習会や市特別職への報告会を実施した。	
今後の方向性や課題等	    	

No.10

所管	子ども政策課	
事業名称	いじめや虐待のないまち宣言PR事業	継続
実施日	令和4年11月5日（土曜日）	
実施内容	<p>「いじめや虐待のないまち宣言」を広く周知するため、子ども達に「みんななかよし」をテーマに、描いてもらった絵をシールに加工して、ごみ収集車へ貼ることで、普及啓発を目的としたPR事業を実施している。新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止にしていたごみ収集車出発式も、応募してくれた子ども達とその保護者を招待して3年ぶりに開催した。</p> <p>また、国領駅近くの「あくろす」にて、12月17日から1月9日まで、展示会を開催した。</p> <p>なお、FC東京からいただいた協賛品は、ごみ収集車出発式終了後に、参加賞として子ども達へ配布した。（出発式欠席者には令和5年3月31日まで配布予定）</p>	
<p>【参加者】 小学1年生から6年生まで 122名</p>		
今後の 方向性や 課題等	   	
<p>ごみ収集車出発式では、ごみ収集車の前や運転席に座って、楽しそうに写真撮影をする家族連れで賑わっていました。参加賞を受け取った子ども達は、とても嬉しそうでした。今後も継続していきたい。</p>		

No.11

所管	児童青少年課	
事業名称	児童館交流大会「J's cup」	継続
実施日	令和5年1月8日（日）	
実施内容	市内の児童館や学童クラブで活動している児童が一堂に会し、サッカーを通じて仲間との親睦を深め、チームワークやルールの中でプレイすることなどの大切さを学ぶ。	
<p>この事業は、Jリーグが開幕した1993年に調布市でもサッカーで熱く盛り上がりろう！という趣旨からスタートし、その後、FC東京のホームタウンを構成する市の1つとして、サッカー競技の盛り上げと児童の健全育成を目的に開始しました。</p> <p>コロナ禍前は、小学生「低学年」・「高学年」・「女子」の3部制で行っていましたが、時間短縮と密を防ぐため、チームの人数を制限、「低学年」の部に限定し、3ブロックに分けて実施しました。</p> <p>参加賞として、ノートを500冊いただきました。今後もよろしくお願いします。</p>		
<p>実施会場：ミズノフットサルプラザ調布 参加人数：28チーム 313人</p>		
今後の 方向性や 課題等		
<ul style="list-style-type: none">例年、参加者、応援の保護者を含めて、とても盛り上がる事業であり、FC東京の地元として、今後も継続していく。サッカーに触れることだけではなく、市内中の同年齢層の児童とプレイすることで、個々のさらなるレベル向上に繋げる事業としたい。		

No.12

所管	高齢者支援室高齢福祉担当	
事業名称	JリーグFC東京「高齢者体操教室」	継続
実施日	2022/10/27（木）	
実施内容	<p>保健師による介護予防の講義後、FC東京のトレーナーの指導で、高齢者向けにアレンジされた運動を楽しむJリーグFC東京高齢者体操教室を開催しました。全身の筋肉をほぐす簡単なストレッチから始まり、最後はサッカーボールを使って、転倒予防に資するトレーニングを行いました。参加者の方からは、「楽しく身体を動かすことができました」と好評。</p> <p>対象：65歳以上の、医師から運動制限を受けていない市民 参加費：無料 【参加人数】 女性11名、男性3名の計14名</p>	
今後の方向性や課題等	<p>担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>すぐに定員が埋まる人気事業の1つであるため、来年度以降もより参加者のニーズに沿った事業としていきたい。</p> <p>回数を増やしてほしいという参加者の声が聞かれるので、年1回の開催を可能であれば2回に増やしていきたい。また、初級者、中級者などで分けるとより広い層の介護予防につながると考えられるため検討していきたい。 今後は体操教室でなく、ウォーキングフットボールなど違った取り組みも検討したい。</p>	



No.13

所管	障害福祉課	
事業名称	あおぞらサッカースクールin調布	継続
実施日	毎月第2日曜日(4・8月は除く),9月18日(日),2月23日(祝), 3月18日(土)	
実施内容	<p>主に知的・発達障害のある方向けのサッカースクールです。FC東京コーチ陣に加え、外部コーチ（NPO法人トラックス）にもお越しいただいている。障害の程度に合わせたクラスを設定をし、手厚いコーチ陣の支援のもと、参加者の得意なこと・できることに合わせた内容で実施。参加者にとって貴重な外出及び運動の機会となっている。</p> <p>9月・2月、3月には「交流会」という形で、試合形式により他チームとのゲームを通じて、楽しむだけでなく協調性や社会性などを育んだ。</p> <p>【会場】</p> <p>ゼビオスポーツパーク調布（定期スクール） 大町スポーツ施設体育館（9月17日交流会） 布田小学校体育館（2月23日交流会） 大町スポーツ施設体育館（3月18日交流会予定）</p> <p>【クラス種別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害をお持ちの方を対象としたエンジョイクラス（定員20名） ・軽度、中度の障害をお持ちの方を対象としたチャレンジクラス（小学生クラス定員20名／中学生以上クラス 定員20名） 	
		
課題等	<p>知的障害、発達障害により、集団行動等が苦手で、いわゆる通常のサッカースクールでは難しい子でも参加できるのが、あおぞらサッカースクールであり、最大の魅力はコーチ陣にあると思っています。体制はマンツーマンに近い人数での手厚さなうえ、児童との絶妙な距離感や接し方などサッカー以外のスキルも高く、障害特性等の理解や経験を活かした絶妙な関わり方により、うまく個々の能力を引き出し、サッカーの魅力や楽しさを伝えてもらっています。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルスの影響でスクールが4回中止、交流会が1回中止となりましたが、令和4年度は中止もなく実施できています。</p> <p>令和5年度も引き続き実施予定で、現在の3クラスを4クラスに拡充する予定です。例年通り、4月5日号でスクール生を募集する予定です。</p>	

No.14

所管	保険年金課	
事業名称	封筒にドロンバを使用	継続
実施日	R4年4月1日～R5年3月31日	
実施内容		健診結果提供を依頼する封筒に、「調布市はFC東京を応援しています」のフレーズを印字し、FC東京マスコットの東京ドロンバを挿入してPRを実施。対象者は、健診結果を提供していただける40歳～74歳の調布市国民健康保険加入者。
今後の 方向性や 課題等	<p>担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>調布市がFC東京を応援していることのPRになる。</p>	

No.15

所管	福祉総務課	
事業名称	社会を明るくする運動中学生サッカー教室	継続
実施日	令和4年11月26日（土）	
実施内容	<p>市民西町サッカー場において、サッカーを通じて子どもたちに夢を与えるとともに、非行防止と健全育成に役立てることを目的とし、FC東京の御協力をいただき、調布市と狛江市に在学の中学生を対象としたサッカー教室を開催しました。また、東京フットボールクラブ株式会社様から、当日参加した中学生に、FC東京デザインのショッパーをいただきました。</p> <p>例年、7月に開催していましたが、熱中症が心配されるため、令和元年度から11月に時期をずらして開催しています。</p> <p>令和2年度3年度は新型コロナウイルスの影響により中止となっていた事業で、今年度は3年ぶりに開催することができました。</p> <p>中学生参加者：45名</p>	
今後の 方向性や 課題等	<p>参加者を増やすことで、運動の目的や主旨について周知する効果を高めていきたい。</p> <p>会場確保の関係から、中学生への広報が遅くなってしまった。例年アミノバイタルフィールドを借用していたが、11月に時期をずらしたことでの予約が取れないのが現状である。今回開催した西町サッカー場を含め、開催場所の検討を早期に進め、広報を徹底する必要がある。</p>	



No.16

所管	環境政策課
事業名称	ゼロカーボンシティ宣言横断幕・懸垂幕におけるFC東京カラーの使用 新規
実施日	令和5年2月9日（木）～2月15日（水），令和5年2月20日（月）～3月24日（金）（予定）
実施内容	調布市ゼロカーボンシティ宣言の普及に関する懸垂幕（市庁舎）・横断幕（グリーンホール）を，FC東京カラーを使用して作製しました。
今後の 方向性や 課題等	<p>担当者，参加者の感想等，また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>FC東京様におかれましては，「ECOバスプロジェクト」・「NO PLANET, NO TOKYO」など，「安心で平和な地球環境」のための活動を幅広く実践されていると伺っております。引き続き，環境保全等における連携事業の御協力をよろしくお願ひいたします。</p>  <p>The image contains two photographs. The left photograph shows a blue banner hanging from the side of a building that reads "調布市ゼロカーボンシティ宣言" (Chofu City Zero Carbon City Declaration). The right photograph shows a larger blue banner hanging across a street that also reads "調布市ゼロカーボンシティ宣言" and includes the text "調布市は2050年二酸化炭素排出量ゼロを目指しています" (Chofu City aims to achieve zero carbon dioxide emissions by 2050) and the FC Tokyo logo.</p>

No.17

所管	交通対策課
事業名称	高齢者等運転免許自主返納サポート事業
	新規
実施日	令和5年1月20日（金）から
実施内容	<p>運転免許証を自主返納した高齢者等が、協力店舗ステッカーを掲示している店舗等で買い物等の際に、運転経歴証明書を提示すると、店舗等の独自のサービスを受けることができるもの。</p> <p>FC東京カラーの調布市ロゴを高齢者運転免許返納サポート事業のガイドブック及び店舗ステッカーで使用することで、FC東京の広報に繋げる。</p>
今後の方向性や課題等	<p>担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>協力店舗の拡大が課題である。</p>

No.18

所管	指導室
事業名称	FC東京出前授業
実施日	令和5年2月1日, 2月17日, 2月22日
実施内容	<p>市内小・中学校から参加希望校を募り、FC東京の普及部コーチ陣による子どもたちへサッカーの指導を行うもの。</p> <p>ボールを使わないウォーミングアップから始まり、1対1のボールキープ対決、2対2での点取りゲーム（コーンに当てるごとに1点）、最後には大きいコートでの試合を実施。コーチからどのようにしたら点が取れるか子どもたちに考えさせ、仲間と話し合いながら真剣に授業に取り組んでいた。</p> <p>対象：市内小・中学校のうち3校（第一小、多摩川小、柏野小） 会場：学校の校庭 参加費：無料 【参加人数（延べ人数）】 第一小学校（3年生 4クラス 118人） 多摩川小学校（6年生 4クラス 124人） 柏野小学校（1年生 3クラス 97人）</p>
今後の方向性や課題等	<p>今年度初めての実施となったが、子どもたちにとって大変有意義な時間となつた。次年度も継続して実施していきたい。</p>



No.19

所管	指導室
事業名称	FC東京選手会 小学校訪問授業（オンライン） 繼続
実施日	令和4年6月6日
実施内容	<p>FC東京の選手が小学校を訪問し、授業や給食等の時間を過ごし児童との交流を図るもの。</p> <p>今年度も新型コロナウィルス感染拡大の影響によりオンラインにて実施。選手たちから小学生時代のエピソードや夢の話を聞くなど、子どもたちとのふれあう機会を提供。</p> <p>対象：市内小学校のうち1～2校、小学4年生以上</p> <p>会場：学校の体育館</p> <p>参加費：無料</p> <p>【参加人数（延べ人数）】 緑ヶ丘小学校（6年生 2クラス 64人）</p>
今後の 方向性や 課題等	<p>今年度もオンラインでの実施となり、選手と一緒に運動したり給食を食べるなどの交流はできなかったため、選手からの話を聞く機会とした。選手の話に子どもたちは真剣に耳を傾け、「夢」の話は、今後の人生において、大変貴重な経験となりとても良いアドバイスとなった。</p> <p>次年度以降は、コロナ以前の小学校訪問に戻していきたい。</p>

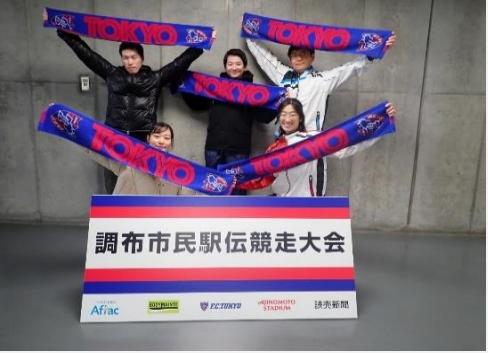
No.20

所管	社会教育課	
事業名称	令和5年調布市二十歳のつどい	継続
実施日	令和5年1月9日（月・祝）	
実施内容	令和5年調布市二十歳のつどいにて、FC東京の森重真人選手、石川直宏クラブ コミュニケーションからのビデオメッセージを上映した。 また、FC東京から抽選会の景品として「チームエンブレム入り充電式カイロ」 を10個提供いただいた。	
<p>対象者：令和4年度に20歳を迎える方 ※平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれで調布市住民基本台帳に記載されている方 ※過去に市内に居住していたなど、現在記載されていない方も出席可能（要事前申請） 会場：調布市グリーンホール大ホール 対象人数：2,301人 出席者：1,272人</p>		
今後の 方向性や 課題等	 <p>今後も引き続き、FC東京選手からのビデオメッセージ等の御協力をいただきたい。</p>	

No.21

所管	図書館
事業名称	「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2022」発行 繼続
実施日	令和4年7月から
実施内容	<p>FC東京の協力を得て「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2022」を作成し3000部印刷。今年もトップチームの選手から回答をいただくことができた。今回は、ジャンルを問わずおすすめの本を選んでいただいた。今年度より、選手集合写真・東京ドロンパ・図書館公式キャラクターじろのコラボしおりを巻末に掲載。</p> <p>令和4年7月2日味の素スタジアム「FC東京調布の日」で、1000部配布。新型コロナウィルス感染症感染防止対策を取りつつ、3年振りに味の素スタジアムで配付することができた。中央図書館4階のFC東京応援展示コーナーで配布及び掲載図書の展示を行った。また市内10分館でも冊子の配付を行った。</p>
今後の 方向性や 課題等	 <ul style="list-style-type: none">・中央図書館FC東京応援展示コーナーの充実・選手によるリモートおはなし会や東京ドロンパによる1日館長等のご了承いただきましたが未実施の企画について、実施に向けた具体的な話し合いを進めたいと考えております。・選手の等身大パネルいただき、図書館内に展示する。・図書館で行う事業へ、FC東京様からグッズをご提供いただけるとありがたいです。・東京ドロンパと調布市立図書館公式キャラクターじろのぬりえの実施。・味の素スタジアムで冊子を配付する機会があれば積極的に参加したい。・他課で行う応援企画への積極的参加したい。・Jリーグ30周年の2023年に、FC東京優勝のため図書館としても全力で応援したい。

No.22

所管	体育協会	
事業名称	第67回調布市民駅伝競走大会	継続
実施日	令和5年1月29日（日）	
実施内容	<p>【内容】 市民を対象とした、駅伝競走大会</p> <p>【会場】 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース</p> <p>【参加者数／来場者数】 248チーム（1,210名）／2,508名</p> <p>【FC東京との連携】 (1) FC東京賞 (2) 参加賞配付用のナップザックの提供 (3) プログラム記録集への広告掲載</p>	
今後の方向性や課題等	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりに開催。また、味の素スタジアムでは5年ぶりの開催となった。</p> <p>参加チームがコロナ禍前に比べ、150チームほど減少。コロナの影響と思われるが、過去の規模に戻していきたい。</p>	 

No.23

所管	体育協会	
事業名称	CHOFU SPORTSキャンプ2022	継続
実施日	令和4年8月22日（月）	
実施内容	<p>【内容】 スポーツ体験教室を通し、「強くたくましい心を育てる」「友だちを思いやる心を育む」ことを目的とする。 夏休みを利用して、1日をかけて様々なスポーツを体験できる内容となる。令和4年度は、走り方教室・サッカー教室とパラスポーツのゴールボール体験を実施。</p> <p>【会場】 調布市総合体育館</p> <p>【参加者数／来場者数】 39人</p> <p>【FC東京との連携】 (1) サッカー教室の実施 (2) 石川クラブコミュニケーターのゲスト対応</p>	
今後の方向性や課題等	    <p>今後も同規模で継続して開催を予定。</p>	

No.24

所管	体育協会
事業名称	第62回調布市民体育祭 開会式（動画配信） 繼続
実施日	令和4年9月16日（日）
実施内容	<p>【内容】 第62回調布市民体育祭開会式の動画配信。新型コロナウイルス感染症の対応として、今年度より、対面での開会式は行わず、YouTubeでの動画配信での開催となった。 調布市民体育祭は市内会場を中心に8月から9月までの期間に、30競技を開催。</p> <p>【会場】 YouTubeを活用した動画配信</p> <p>【参加者数／来場者数】</p> <p>【FC東京との連携】 (1) 応援メッセージ動画の配信（森重選手）</p>
今後の方向性や課題等	<p>今後も継続して実施を希望。</p> 

No.25

所管	体育協会	
事業名称	第8回調布市小・中学生バレー交流大会	継続
実施日	令和4年12月18日（日）	
実施内容	【内容】 市内の中学生を対象としたバレーの交流大会 【会場】 中学生男子／調布市立神代中学校 第1体育館 中学生女子／調布市立第三中学校 第1・2体育館 小学生／調布市総合体育館 【参加チーム】 中学生男子／6チーム（104人） 中学生女子／10チーム（142人） 小学生男子／6チーム（66人） 小学生女子／6チーム（61人）	
今後の 方向性や 課題等	  各種ガイドラインを遵守し、新型コロナウイルス感染症感染の感染対策を行った上で開催しました。 参加選手にはFC東京のグッズを参加賞としてお渡しました。	

No.26

所管	体育協会	
事業名称	第40回調布市民スポーツまつり	継続
実施日	令和4年10月10日（祝・月）	
実施内容	<p>【内容】 味の素スタジアムにて、幅広い年齢層がスポーツ・レクリエーションを親しみ楽しむことができるアトラクションを企画し、開催した。令和4年度は、コロナ禍で失われていた、スポーツの良さを体感することができるイベントとして開催した。</p> <p>【会場】 味の素スタジアム及び周辺施設</p> <p>【参加者数／来場者数】 3,958人</p> <p>【FC東京との連携】</p> <ul style="list-style-type: none">(1) FC東京サッカークリニックの開催(2) トークショーへの石川クラブコミュニケーションセンターの出演(3) キックターゲットコーナーの設置（備品借用・スタッフ協力）(4) スポーツとSDGsの展示への協力（チーム活動の紹介）	
今後の 方向性や 課題等	    新型コロナウイルス感染症の対策として、コロナ禍前と比較すると、縮小しての開催となった。今後は、コロナ禍前のように多くの方が参加できるよう、多くのアトラクションを実施予定。	

No.27

所管	体育協会	
事業名称	第20回調布フットサル大会	継続
実施日	令和4年11月29日（日）	
実施内容	<p>【内容】 味の素スタジアム、FC東京を拠点にサッカー・フットサルの普及を目的として開催。</p> <p>【会場】 ミズノフットサルプラザ調布</p> <p>【参加者数】 30チーム（ミックス20チーム／一般10チーム）</p> <p>【FC東京との連携】 入賞チームへの商品提供</p>	
今後の 方向性や 課題等	  <p>フットサル大会の他、1on1のミニサッカーができるエリアを設置。子どもたちに好評だった。 オープン大会のため、市民の参加が少ないが、市内でフットサル・サッカーを楽しめる大会としてこれからも継続していきたい。</p>	

No.28

所管	社会福祉法人 調布市社会福祉協議会	
事業名称	東京都共同募金会 調布地区協力会	継続
実施日	10/8 VS湘南ベルマーレ戦	
実施内容	<p>・メイン、バック、青赤パークの3か所で赤い羽根共同募金とのコラボピンバッジ販売と、募金を頂いた方へ限定デザインの青赤の羽根をお渡しした。バッジは1個500円で販売をし、製作費を除いた額を共同募金会へ寄付をした。昨年よりも100個増やした1300個を販売したが、キックオフ前にはほぼ完売となった。</p> <p>・ハーフタイムには法人のマスコットキャラクターであるちょピットとFC東京のドロンパくんがスタジアム内を周り、また、大型ビジョンに共同募金の映像を流していただきなど、募金の周知を行った。</p> <p>・青赤パークでは、石川直宏クラブコミュニケーターが店頭での販売の声掛けにご協力いただいた。</p>	
今後の方向性や課題等	<p>担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>・ハーフタイムにスタジアム内を回るなどのPRができたことで、試合が終了してから多くの方が募金をしてくださいました。</p> <p>・ほかのグッズも販売したらとの声も来場者からあがっていたので、今後の検討事項とする。</p> <p>・限定バッジを毎年楽しみにしている方もおり、来年度以降も継続をしていきたい。</p>	



No.29

所管	調布市文化・コミュニティ振興財団	
事業名称	調布よさこい	継続
実施日	令和4年8月27日（土）	
実施内容	実施会場：調布駅前広場、調布市グリーンホール 参加者：延べ約8,490人 概要：調布よさこい踊り（駅前広場ステージ、グリーンホールステージ）をメインに、地域団体の出店やステージパフォーマンスを実施。 FC東京さんには、下記を実施していただきました。 ①キックターゲットの出店 ②来場者への配布用鳴子へのシール提供	
※FC東京との連携が分かる写真の貼り付けをお願いします。		
今後の 方向性や 課題等	 	
	担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。	
<ul style="list-style-type: none">毎年、キックターゲットや鳴子シールなどで協力いただき、イベントと一緒に盛り上げていただきおり感謝しています。コロナ禍3年目でよさこい自体も久しぶりに開催し、コロナで自粛していた方々が多数参加されていました。夏の暑い時期でなければ、ドロンパのフワフワを使用できると自立つアイキャッチが増え、よりイベント自体が盛り上がる感じます。		
アイディア <ul style="list-style-type: none">味スタ試合開催日に、スタジアム入り口周辺やコンコースなどでのよさこい演舞など		

No.30

所管	産業振興課・スポーツ振興課	
事業名称	調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム	継続
実施日	令和4年6月30日（木）、5年3月24日（金）（予定）	
実施内容	<p>FC東京創設20周年を契機に、FC東京と連携した協働のまちづくり等を推進することを目的として、調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チームを設置（平成30年1月）。副市長をリーダーとし、公募委員も含む23名の委員が次の事項について検討を行うもの。</p> <p>(1) FC東京創設20周年記念関連事業の推進における市の取組に関すること。</p> <p>(2) FC東京と連携したスポーツ振興、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域経済活性化等に資する協働のまちづくりの推進に関すること。</p> <p>(3) ホームゲーム来場者及びクラブサポートメンバーの拡大等、FC東京の活動の応援に関すること。</p> <p>(4) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。</p> <p>○令和4年度第1回全体会 令和4年6月30日 (内容) FC東京青赤ストリート実施について</p> <p>○令和4年度第2回全体会 令和5年3月24日（予定） (内容) 来年度事業について</p>	
今後の方向性や課題等	<p>FC東京クラブ20周年を契機に発足したPTで、昨年度は東京2020オリンピック・パラリンピックの影響で9月に3か月ぶりのホーム味の素スタジアムに帰ってくるFC東京に向けて、「おかえりトーキョー!」企画の検討を行い、動画の作成や株主6市でのユニフォームデーなどを実施した。今年度はFC東京ホーム最終戦におけるスタジアム通り歩行者天国「FC東京青赤ストリート」企画の検討を行い、実際に事業を実施した。今後も他のJリーグクラブホームタウンとの連携や、FC東京のホームタウン同士の更なる連携など、FC東京を活用したまちづくりについて検討していきたい。</p>	

所管	スポーツ振興課	
事業名称	青赤ストリート	新規
実施日	令和4年11月5日（土）	
実施内容	<p>味の素スタジアムで開催されたJ1リーグ2022シーズン最終戦（対川崎フロンターレ）に合わせ、飛田給駅から味の素スタジアムまでの通称「スタジアム通り」を歩行者専用道路とする「青赤ストリート」を開催。</p> <p>当日は様々なイベントが実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージイベント オープニングセレモニーでは石川直宏CCが登場し開幕宣言、そして、飛田給駅北口ロータリーの懸垂幕お披露目を実施。また、市内で活動するチアダンスチーム「WINDYS」によるダンスや「調和SHC俱楽部」によるよさこい、フラダンスの披露。クロージングステージにはFC東京のレジェンドであるアマラオ氏とルーカス氏が登場。勝利を祈念してステージイベントは無事に終了した。 ・調布市ブース出展 観光協会PRブースやパラアート展示、ボッチャの体験等を実施。中でもボッチャ体験は待機列が途切れない盛況ぶりで、東京ドロンパも飛び入りで参加。大変盛り上がったブースとなりました。 ・その他 「フードドライブ」や「ゴミ拾い」に関連するブース出展や、子供向け遊具、各種キッチンカーなども出展し、大変にぎわった一日となった。 	
今後の方向性や課題等	   <p>今回の青赤ストリートは多くの方に立ち寄っていただき、非常に盛り上がった一日となった一方、調布市に関連するブース出展をもう少し出展できれば感じた。 今後は年に2回の実施が予定されているので、調布市としてどのようなブース出展ができるかをスポーツ振興課だけではなく、庁内全体で考えていきたい。</p>	

No.32

所管	スポーツ振興課
事業名称	FC東京リーグ戦等の情報発信
実施日	随時
実施内容	<p>シーズン開始前などの市民への機運醸成として、市公式HPやSNSで情報発信するほか、J1リーグ戦の試合結果を随時、市のHPへ掲載。市報でも情報発信を行う。（広報課と連携）</p> <p>また、今年度よりオリパラ担当から移管したTwitterアカウントを活用し、節目の試合直前の開庁日に実施しているユニフォームデーのリレーツイートなどの情報発信を実施。</p> <p>「調布の日」において実施した、フォロー企画ではスポーツ振興課のTwitterアカウントのフォロー画面を見せてくれた方に応募用QRコードを配布。応募者のなかから抽選で選手のサイン入りフラッグをプレゼントし好評だった。フォロワーも本企画のみで約300人増。</p>
今後の方向性や課題等	 <p>シーズン中は、試合情報などコンスタントに発信する情報があるがオフシーズンにツイートの頻度が落ちがち。その間にフォローを外されてしまわないよう、オフシーズンでの発信内容を検討する必要がある。</p>

No.33

所管	スポーツ振興課	
事業名称	ホームタウン6市分科会	継続
実施日	令和4年2月13日（月）	
実施内容	FC東京ホームタウン株主6市の関係強化、各市におけるスポーツを活用した施策のナレッジ・ノウハウ・資源の共有及びホームタウン株主6市が連携した効果的な施策実現への効果的な足場づくりとしてFC東京の行政担当者による分科会を実施。分科会内では、各市の取組紹介や、6市連携で今後取り組みたい事業についてFC東京担当者も交えグループワークなどを実施。 これまでのグループワークの中で出たものでは、各市ユニフォームデーの実施、ユニフォームデーの様子を各市SNSでリレー発信などを実施。また、今年度は6市連携ポロシャツを作成した。	
場所	調布南ビル 内容：各市連携事業報告・来年度の取組について	
今後の 方向性や 課題等	<p>昨年度は3回開催したのに対し、今年度は1回のみ1年間の振り返りとしての開催しかできなかった。新たな連携を考えていくうえで、予算編成の時期を踏まえた複数回の開催が課題。</p>	
 		

No.34

所管	スポーツ振興課	
事業名称	調布市障害者スポーツ体験会	継続
実施日	令和4年11月6日（日）	
実施内容	調布市障害者スポーツ体験会において、「ウォーキングフットボール」の体験ブースを出展して頂いた。 「ウォーキングフットボール」とは歩いて行うサッカーのことで、走らない、接触しない、ボールを浮かせないというルールを守りながら行う競技。障害者スポーツ体験会ではFC東京コーチ陣によるドリブルやシュート体験を実施。 参加者からは「思わず走りたくなる」、「走らずプレーするのが難しいけど楽しい」などといった感想が出た。	
今後の 方向性や 課題等		

No.35

所管	スポーツ振興課	
事業名称	FC東京「調布の日」	継続
実施日	令和4年7月2日	
実施内容	令和4年度は味の素スタジアム開催のホームゲーム（対アビスパ福岡戦）を「調布の日」とし、市民招待（500組1000人）に加えて、味の素スタジアム横青赤パーク内にて、調布市が掲げている共生社会の充実を目指した取組「パラハートちょうふ」をテーマに様々なイベントを行った。 <ul style="list-style-type: none">・ブラインドサッカーチューンナップ会特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会協力のもと、子供から大人まで幅広い世代の方々がブラインドサッカーを体験。・調布市PRブース 調布市パラアート展の作品展示や市内福祉作業所が運営するキッチンカーの出展、図書館作成の「FC東京選手の私の進めるこの一冊2022」の配布や調布市×FC東京のコラボ缶バッジの配布などを行った。その他にも、調布市オリジナル街路灯フラッグプレゼントキャンペーンや同日開催の調布観光フェスティバルとのコラボ企画などを実施。	
今後の方向性や課題等	 	

No.36

所管	スポーツ振興課	
事業名称	小学生サッカークリニック	継続
実施日	令和4年11月26日（土），12月3日（土），12月10日（土）	
実施内容	調布市少年サッカー連盟と連携しながら、味の素スタジアムに隣接する調布基地跡地運動広場サッカー場D1グランドで、プロコーチによる指導を実施。小学生の指導の実施の際に、指導者も参加してもらいながら指導ポイントを共有してもらった。指導者も非常に積極的に参加してくださったのが印象的であった。	
今後の 方向性や 課題等	今後も調布市少年サッカー連盟向けにFC東京コーチ陣による指導を実施していく。 今年度の実施に向けて、場所の確保という課題が出てきたので、早めにFC東京担当者と調整を行うことでかだいの解決に取り組む。	

No.37

所管	スポーツ振興課	
事業名称	子どもサッカートラック教室	継続
実施日	令和4年12月10日（土）	
実施内容	<p>サッカー未経験・初心者の子どもたちを対象に、FC東京の普及部コーチ陣によるサッカー教室を開催しました。</p> <p>年長児の部では保護者の方にもご参加いただき、お子さんとペアになって遊び感覚のウォーミングアップから始まり、最後は子どもチームと大人チームで対戦。子どもたちはもちろん、保護者の方にも「いい運動になりました」と好評。</p> <p>小学生は「1年生の部」と「2年生から4年生の部」に分かれて実施。ウォーミングアップもそこそこに、2、3人でパスを回してシュートまで持っていく練習など、試合で活用することを念頭に置いたメニューに取り組みました。</p> <p>対象：市内在住・在学の年長児～小学4年生 ※従前の申込状況を勘案し今回から小学5・6年生を対象外とした。</p> <p>会場：市民西町サッカー場</p> <p>参加費：無料 【参加人数（延べ人数）】 年長児28組、小学生49人の計77人</p>	
 		
今後の方向性や課題等	<p>人気事業の1つであるため、来年度以降もより参加者のニーズに沿った事業としていきたい。</p> <p>周知期間が短く（市報11月20日号掲載），追加募集も行ったが定員割れしてしまったクラスもあった。来年度以降は遅くとも開催1か月前には市報に掲載するなど、早めに告知する必要がある。</p> <p>また、実施日の調整が遅かったため、10～11月に開催したかったが適わず12月の開催となってしまった。FC東京側と早め（学校の年間予定が分かり次第）の日程調整が必要。</p>	

No.38

所管	スポーツ振興課・環境政策課	
事業名称	楽しくやろうCCAゴミ拾い部への参加	継続
実施日	令和4年5月17日（火）、7月14日（木）、10月13日（木）、11月5日（土）	
実施内容	FC東京の石川直宏CCが発案した#楽しくやろうCCAゴミ拾い部に参加。今年度は4回実施し、1回目、2回目は小平グラウンド周辺のゴミ拾い、3回目、4回目は味の素スタジアム周辺でごみ拾いを実施。2回目のゴミ拾い部では、当市のほかに小平市との連携や選手とともに実施。また、4回目の実施では青赤ストリート終了後及び試合終了後にも実施。	
今後の方向性や課題等	<p>昨年度は実験的な取組として2回ほど実施したが、今年度は4回の実施となり、倍の回数実施ができた。他市や庁内他課との連携、そして、FC東京の選手との連携など、連携先が増えたことも収穫の1つ。 来年度も引き続き実施するとともに、連携先の更なる拡大や、ゴミ拾い場所の拡大を検討していきたい。</p>	
		

No.39

所管	スポーツ振興課	
事業名称	初心者向けフットサル教室（大人向け）	継続
実施日	令和4年10月17日（月），令和5年2月27日（月）	
実施内容	<p>フットサル未経験・初心者向けに，FC東京のコーチ陣が実施。フットサル未経験でも楽しめるように基礎的な練習から試合形式まで一連の流れが体験出来るプログラムで構成。</p> <p>対象：市内在住，在勤，在学の18歳以上 会場：武蔵野の森総合スポーツプラザサブアリーナ 定員：20名 参加費：無料 【参加人数】 令和4年10月17日（月） 15名 令和5年2月27日（月） 23名</p>	
今後の 方向性や 課題等	  <p>前年に引き続き、第1回目は定員割れしてしまったため、第2回目はSNSを中心に広報により力を入れた。GWの掲示板など職員向けにも周知した結果、第2回目は定員を上回る応募となり受け入れ枠を拡大し、にぎやかに開催することができた。とはいえ、職員やスポーツ推進委員などの関係者を除くと定員ギリギリである状況。参加者からも「内容を考えるともっと参加者が集まってもいいのに」とのお声もあり、週末実施などの検討は引き続き必要。</p>	

No.40

所管	スポーツ振興課	
事業名称	指導者講習会（オンライン）	継続
実施日	令和5年3月11日（土）	
実施内容	昨年度までは調布・府中・三鷹市内少年チームの指導者が対象だったが、今年度は対象をホームタウン6市の「ジュニアスポーツの指導に関心のある方」に拡大し実施。 主催は引き続き府中市で、他5市は共催。 「オンラインで学ぼう！発達に合わせた指導と子どもとの関わり方」と題し、幼児から小学生にかけての子どもの年齢に応じた指導のあり方の講義を、参加者同士の意見交換を交えて実施した。	
対象	調布・府中・三鷹市内少年チームの指導者	
形式	オンライン（Webex）	
定員	50名	
参加費	無料	
今後の方向性や課題等	<p>例年より規模を拡大し実施できた。また、当初12月に予定されており（講師の体調不良のため延期），その際は申込みが定員に満たなかつたが、改めて3月実施が決まった際は、調布市としては体育協会にも情報発信を依頼し、全体で定員を超える54名の申込みがあった。（当日参加は30～40名）</p> <p>オンライン上でのグループ分けの操作に時間がかかるなど、運営側の課題もあるが、手軽に参加できるという点ではオンラインは有効。</p>	
<p>The graphic features a cartoon character of a child playing soccer. Text includes: オンラインで学ぼう！ 発達に合わせた指導と 子どもとの関わり方 日 時 3月11日(土)午後5時～7時 参 加 費 無料 ※通信料は自己負担 参 加 方 法 オンライン会議システムCisco webex meeting を使用 定 員 50人(申込み多数の場合は抽せん) 主催:府中市 共催:調布市 三鷹市 小金井市 小平市 西東京市 第1部:発達に応じた指導 第2部:子どもとの関わり方 子どもたちの発育・発達の特徴に応じた、適切な指導法について スポーツに励む子どもたちの「やる気」を引き出す、活動中のコミュニケーションについて ◆講師紹介◆ 筑波大学を卒業後、プロサッカー選手として4つのクラブでプレー。指導者としては、13年からファジアーノ岡山で普及・育成に携わり、16年からFC東京へ。20~21年には海外(ペトナム)でも指導経験を積み、サッカーの楽しさ・プレーの質を追求しながら指導にあたる。 FC東京昔及部コーチ 大島義氏 お申込み・お問合せ先 府中市文化スポーツ部 スポーツタウン推進課 ☎ 042-335-4499 ✉ taiiku01@city.fuchu.tokyo.jp お申込み方法は裏面をご覧ください</p>		

No.41

所管	スポーツ振興課	
事業名称	あおあかドリルの配布	継続
実施日	令和4年5月12日（木）	
実施内容	FC東京がホームタウンの子供たち向けに作成した、青赤ドリルを実際にFC東京の担当者と共に市内小学校の児童に配布。	
今後の 方向性や 課題等	<p>来年度以降、青赤ドリルを実際に使用した小学校での授業などにつなげていきたい。 青赤ドリルについて、市内小学校への配布だけで終わってしまっているので、青赤ドリルの広報など市HPで実施していきたい。</p>	

No.42

所管	スポーツ振興課・文化生涯学習課・調布市体育協会・調布市文化・コミュニティ振興財団等	
事業名称	2023シーズン開幕に向けた取組	新規・継続
実施日	令和5年2月15日（水）～18日（土）	
実施内容	J1リーグ2023シーズン開幕戦を迎えるにあたり、市としてFC東京を応援することで、まち全体で応援する機運の醸成を図るとともに、市のスポーツ振興、町の活性化を目指して実施。	
	(1) 調布市総合体育館青赤ウォールアート お披露目式：令和5年2月15日（水） 調布市総合体育館に描かれた青赤ウォールアートのお披露目式を実施。 お披露目式にはFC東京のレジェンドであり、ウォールアートにも描かれているアマラオ氏が参加。 そのほかFC東京レジェンドである石川直宏氏、ルーカス氏や現役で活躍する長友佑都選手、森重真人選手が青赤ウォールアートに描かれている。 (2) 青赤ライトアップ 令和5年2月16日（木）から18日（土）まで 今後、キーとなる試合前に実施予定 (3) ユニフォームマーク、スタジアム通りFC東京選手フラッグリニューアル 令和5年2月17日（金） ユニフォームマークはホームタウン株主6市で連携して今後も継続して実施	
今後の方向性や課題等	   	
	<p>青赤ウォールアートについては、FC東京聖地化の第一歩として各種メディアに取り上げるなど大好評だった。その他取組についてもSNS等で好評だったため、今後も継続して取り組みたい。</p>	